

2025 年度（令和 7 年度） 事業報告書

2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日



公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

2025 年度（令和 7 年度）事業報告

（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

1. ブライダルに関する調査研究ならびに情報の収集及び提供（定款第 4 条第 1 項関連事業）

（1）調査研究事業

1）日本の婚礼文化に関する調査研究及び情報収集

- ① 日本の婚礼文化をポータルサイトにより発信することで、インバウンド需要獲得を図る。
- ② プロジェクトを立ち上げ、インバウンドマーケットの開発・獲得に向け、業界としての必要体制・座組・具体策等を検討した。
 - ・「ウェディングツーリズム&文化発信プロジェクト」を立ち上げ。（10 月 24 日）
 - ・プロジェクト内に 3 つの分科会を設置。月次の定例会、分科会にて検討した。
マーケ/プロモーション特定国 A チーム・全体 B チーム、官民連携チーム
- ③ プロジェクトの目的・意義
 - ・業界横断のネットワーク形成による知見・ノウハウの共有と連携強化。
 - ・日本文化×ウェディングの体験価値最大化と日本の伝統的婚礼文化の発信。
 - ・世界に向けた新市場の創出と日本のウェディングツーリズム拡大。
- ④ 活動状況
 - ・シンガポール/香港をターゲットとして、具体策を検討した。
 - ・日本のウェディングツーリズムを訴求する HP 作成や SNS 運用の具体策等を検討した。
 - ・経産省、観光庁、JNTO へのアプローチ、国会議員等への協力要請を行った。

2）ブライダル業界の課題に対する調査研究

- ① 国の重要課題でもある、未婚化・少子化対策について調査研究
 - ・会員メディア各社が集まり、「現状の業界課題」「自社での取組」「共同の可能性」を共有。
「カスタマー啓蒙」「負の解消」をテーマに検討を進め、BIA がサポートした。
 - ・メディア主体で「令和婚」をアピールした。
- ② 業界としての最重要課題である人材問題の解決策について調査研究
 - ・企業、学校関係者による検討会、意見交換による解決策について検討した。
 - ・高齢者雇用推進事業への参画を検討、次年度事業として実施予定。

3）「未婚化対策」に係るセミナー等事業創出のための調査研究

- ① 国の課題である少子化対策への業界としての貢献策の研究。
- ② 結婚関連の各種統計、データの情報収集、各種調査への協力。
- ③ 婚活・ブライダル振興議員連盟との「結婚喚起活動」での連携。
- ④ 地域ブライダル協議会、BMC 等と連携した「結婚喚起活動」のあり方を研究。
- ⑤ 東京都主催結婚喚起イベントへの後援・協力。
 - ・結婚おうえん TOKYO ミーティング参画。

- ・TOKYO 結婚おうえんフェスタ協力。
- ・結婚式を取り上げたイベントの共催。（東京都現代美術館）

4) ブライダル業界のコンプライアンス等に関する調査及び研究

ブライダル事業に係る「法令遵守」「トラブル防止」に向け、国民から信頼されるために必要なガイドライン・ルール構築に向けた調査研究を行った。

- ① お客様の声（消費者相談情報）の分析取りまとめ、業界広報
- ② ブライダル業「カスタマーハラスメント対応マニュアル」の作成、広報
- ③ 業界のコンプライアンス等に係る情報の収集
 - ・ブライダル業界に関係する各種法律に対する業界遵法状況実態調査、法律改正等。新たな動きへの対応方針の検討。（消費者契約法等）
 - ・音楽著作権等適正利用に関する協議。

5) ブライダルサービス現場の実態調査

ブライダルサービス現場従業員を対象とするアンケート調査を行った。

6) 経済産業省、厚生労働省及び内閣府、その他省庁等との連携強化、調査要請への協力

- ① 経済産業省への協力、継続的な調査
- ② 厚生労働省への協力
- ③ その他省庁及び行政機関からの協力依頼への対応

7) 学術団体（学会）への研究参加

産学連携によるブライダル事業における諸課題についての研究等を行い、特に「未婚化対策のあり方」等に関する情報収集。

- ① 余暇ツーリズム学会・ブライダル分野研究部会活動への参加

8) その他、当協会の目的を達成するための調査研究

「NL 会」（若手の会）の運営

今後 BIA 活動を推進していく際、若手の声を積極的に取り入れていく必要があることから、「NL 会」を創設してチーム毎にミッションを定め活動した。

「広報チーム」

- ・一般カスタマーへの結婚啓蒙を実現する。
- ・会員や業界に対し、有益な情報を発信することで、業界の底上げやプレゼンスアップを実現する。

「イベント&若手活性チーム」

- ・イベントを中心としたコミュニケーション機会を提供し、業界活性化を実現する。

「教育・研修チーム」

- ・BIA が主催するセミナーや研修を企画し、会員及び業界に学びの機会を提供する。

① 広報事業

1) 未婚化・結婚喚起対策に係る広報活動

- ・未婚化・結婚喚起対策の全国展開を図るため、関連団体等に働きかけ、協同事業とすることで、業界の活路を開拓する。
- ・BIA 各支部、各地域 BMC、地域ブライダル協議会が協同し、地域の実情に応じた活動をサポートする。
- ・一般消費者への結婚喚起情報の発信。

2) 賛同者拡大に向けた広報活動

① 新規会員獲得

- ・北海道・東北支部、中部支部でカンファレンスを開催、会員誘致を実施した。
- ・会員メリットの創出と訴求を行った。

② 関連団体、地域協議会との連携強化

- ・積極的に連携を推進するため、入会勧奨、情報の発信・共有化等アプローチを図った。

3) 経済産業省及び各省庁、行政機関発信情報の業界告知活動

- ① ブライダル事業に直接関係する法律等の改正等に伴う、普及啓発等
- ② 省庁、行政機関からの告知要請対応

4) ブライダル産業新聞による「BIA 活動」の発信（隔月 21 日号）

- ① 事業の経過報告（調査研究、講座・研修会・イベント結果等）
- ② 事業の予告（募集活動、イベント告知等）

5) BIA 広報活動の強化

- ① メールマガジンの編集、会報誌等の編集、発行
- ② ホームページによる発信を行った。
 - ・政府・行政からの指示・連絡及び広報等の消費者、業界向け発信
 - ・一般消費者向けの広報機能
 - ・技能検定サイトの充実、機能強化
 - ・インスタグラム運用を開始した。

6) 出版・発行物等

- ① ブライダルコーディネーターテキスト スタンドアートの改定発行（改訂第 6 版発行）
- ② ブライダルコーディネーターテキスト エキスパートの改定発行
- ③ ブライダル用語辞典の改訂発行
- ④ 3 級過去問題集を新たに作成、発行

7) TV、新聞社等への情報発信、取材協力

- ② 各媒体等へのイベント情報等の発信
- ③ 各種取材・撮影協力への対応

8) その他、当協会の目的を達成するための広報活動

2. ブライダルに関する人材育成事業（定款第4条2項関連事業）

(1) 技能検定試験の実施

ブライダルコーディネーター技能検定は、職業能力開発促進法第47条第1項の規定に基づき、厚生労働省より平成30年（2018年）7月23日に、指定試験機関として指定。

1) 試験実施体制

- (ア) 指定試験機関技能検定委員会の開催
- (イ) 指定試験機関技能検定委員の再任及び追加選任
- (ウ) 水準調整会議の開催

2) 試験実施公示・募集開始

- ① 試験実施概要公示：令和7年4月18日
- ② 1級及び2級募集開始：令和7年9月24日
- ③ 3級募集開始：令和7年10月21日

3) 学科試験の実施

- ① 1級及び2級
令和7年12月3日：札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇
- ② 3級
令和8年1月21日：上記8地区及び団体受検校（約100校）

4) 実技試験の実施

- ① 1級 令和8年2月17日：（東京）、18日（大阪）
- ② 2級 令和8年2月4日：（東京）、5日（名古屋）、9日（大阪）
- ③ 3級 令和8年1月21日：上記8地区及び団体受検校（約100校）

5) 令和7年度の実施状況（2025年03月10日時点）

次頁のとおり。

6) 合格者への技能士カード・バッジの販売

1～3級合格者に対し、技能士カード・バッジを販売。

技能検定試験結果の概要(2018年度～2025年度)

【1級】

年度	全体			学科試験				実技試験				免除者
	申請者総数	合格者数	合格率	申請者数	内実技免除者	合格者数	合格率	申請者数	内学科免除者	合格者数	合格率	
2018年度	192	17	8.9%	192	0	46	24.0%	46	0	17	37.0%	
2019年度	146	25	17.1%	127	0	36	28.3%	55	19	25	45.5%	
2020年度	123	40	31.3%	106	0	56	52.8%	71	17	40	56.3%	21
2021年度	134	39	29.1%	112	0	70	62.5%	90	22	39	43.3%	
2022年度	85	25	29.4%	52	0	14	26.9%	46	33	25	54.3%	6
2023年度	75	29	38.7%	58	0	28	48.3%	45	17	29	64.4%	4
2024年度	54	25	46.3%	47	1	34	72.3%	40	8	25	64.1%	2
2025年度	47	12	25.5%	33	0	21	63.6%	35	14	12	34.3%	
合 計	809	212	26.2%	727	1	305	42.0%	428	130	212	49.5%	33

245

【2級】

年度	全体			学科試験				実技試験				免除者
	申請者総数	合格者数	合格率	申請者数	内実技免除者	合格者数	合格率	申請者数	内学科免除者	合格者数	合格率	
2018年度	149	16	10.7%	149	0	42	28.2%	41	0	16	39.0%	
2019年度	273	60	22.0%	264	0	106	40.2%	106	9	60	56.6%	
2020年度	244	84	33.7%	223	0	146	64.3%	154	21	84	54.5%	
2021年度	187	75	40.1%	142	0	102	71.8%	133	45	75	56.4%	
2022年度	142	32	22.5%	120	0	89	74.2%	91	22	32	35.2%	
2023年度	216	68	31.5%	195	0	108	55.4%	115	21	68	59.1%	
2024年度	145	29	20.0%	132	0	74	56.1%	74	13	29	39.2%	17
2025年度	130	47	36.2%	116	0	88	75.9%	90	14	47	52.2%	
合 計	1,356	411	30.3%	1,341	0	755	56.3%	804	145	411	51.1%	17

428

【3級】

年度	全体			学科試験				実技試験			
	申請者総数	合格者数	合格率	申請者数	内実技免除者	合格者数	合格率	申請者数	内学科免除者	合格者数	合格率
2018年度	3,374	2,547	75.5%	3,374	0	2,844	84.3%	3,374	0	2,810	83.3%
2019年度	3,801	2,681	70.5%	3,781	13	3,271	86.5%	3,788	20	2,834	74.8%
2020年度	3,746	2,508	67.0%	3,696	4	2,519	68.2%	3,739	48	3,437	91.9%
2021年度	4,204	2,962	70.5%	4,193	50	3,301	78.7%	4,154	11	3,123	75.2%
2022年度	4,058	2,896	71.4%	4,025	33	3,216	79.9%	4,035	21	3,150	78.1%
2023年度	3,901	3,084	79.1%	3,860	6	3,271	84.7%	3,892	41	3,313	85.1%
2024年度	3,921	2,629	67.0%	3,894	10	3,046	78.2%	3,911	27	2,961	75.7%
2025年度	3,822	2,904	76.0%	3,777	9	3,044	80.6%	3,811	45	3,250	85.3%
合 計	30,827	22,211	72.1%	30,600	125	24,512	80.1%	30,704	213	24,878	81.0%

注) 申請者数は、欠席者を含む人数。厚生労働省への報告内容に準ずる。

(2) BIA 認定 Associate Bridal Coordinator (アソシエイトブライダルコーディネーター)

業界の人材育成を図るため、技能検定とは関連を持たない BIA が認定する独自の制度として、平成 30 年度から実施。

【目的】 ブライダル業界での就労を目指すために必要な「基礎知識」の習得

【資格の名称】 BIA 認定 Associate Bridal Coordinator

(アソシエイトブライダルコーディネーター)

【対象】 ブライダル関係の仕事に従事することを希望し、民間の教育機関で学ぶ、大学生、社会人及びブライダルを学ぶ専門学校、短期大学の学生

【認定方法】 各学校にて、試験を実施する。合否判定のうえ、当協会あて、認定申請を行う。

【試験問題】 筆記試験(50 問) + 論文 又は 筆記試験(100 問)により実施。

予め定める出題範囲、想定する人材像に基づき、各学校にて試験問題を作成。

【日程】 12 月～1 月頃(学校任意)。

【会場】 認定を希望する会員校。

【認定者数】 37 校 751 名

(3) ブライダルマネージャー講座の開催

業界の課題である離職の増加、採用難易度・採用コストの上昇など、人材問題は喫緊の課題であることから、人材育成を現場で担うマネージャーのマネジメント力のアップのため、講座開設を検討した。

(4) 専門学校・短期大学・大学等への協力

1) ブライダル現場で活躍できる人材教育

ブライダル業界への最大の人材供給先である大学・短期大学、専門学校等教育現場と受入れ先である結婚式場及び関連事業者が連携し、より実践的な学校教育、人材育成について、協議・スタディを行い、採用後に活躍できる人材育成を追求。

- ・ 学校部会による課題抽出、具体策の検討を行った。

2) 学校行事等への協力

<教育課程編成委員会>

- (学) 国際総合学園 国際ホテル・ブライダル専門学校
- (学) 中村学園 国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
- (学) 岩崎学園 横浜 f カレッジ
- (学) TBC 学院 国際ファッションビューティ専門学校
- (学) 大原学園 金沢ウェディング・ビューティー専門学校
- (学) 大原学園 東京ホテル・トラベル学院専門学校
- (学) 三幸学園 東京ウェディング&ブライダル専門学校
- (学) 滋慶学園 東京ホテル・観光&ホスピタリティ専門学校

<評議委員>

- (学) 日本ホテル学院 専門学校日本ホテルスクール
- (一財) 日本ホテル教育センター

<卒業生制作発表会等>

- ・専門学校日本ホテルスクール
- ・国際ホテル・ブライダル専門学校
- ・横浜 f カレッジ
- ・東京ホテル・トラベル学院専門学校
- ・その他専門学校、短期大学等

(5) その他

1) ブライダルコーディネーターテキストの改定

- ・改訂委員会の組成、検討
- ・出版から5年が経過したテキストの不具合箇所、追加が必要な事項等を検証し、2026年2月にブライダルコーディネーターテキスト スタンダード改訂第6版を発行した。
- ・ブライダルコーディネーターテキスト エキスパートについては、2026年6月の改訂版発行を目指し、検討を進めている。
- ・新たに、3級過去問題集を作成、販売を開始した。

2) 厚生労働省「ものづくりマイスター」事業への協力

- ・令和7年度から、「ブライダルコーディネート職種」が新たに対象種目として追加された。
- ・全国で約10名が申請、認定された。
- ・各都道府県職業能力開発協会を通じた派遣指導は、次年度以降を想定している。
- ・小学生向け、高校生向け指導メニューを開発した。
- ・ブライダルコーディネート技能検定1級合格者の活躍の場として、活動を模索する。

3. ブライダルに関する研修会・セミナー及びイベント等の開催（定款第4条第3項関連事業）

(1) 研修会・セミナー事業

1) 総会時のシリーズ研修「出せ・出せ・出せ・出せ・知恵を出せ」シリーズ

【日時】 2025年6月17日（火）16:30～

【場所】 ホテル雅叙園東京

【目的】 ブライダル業界の知的生産性の向上

【テーマ】 「労働施策総合推進法の改正概要とカスタマーハラスメント対策について」

【講師】 「厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課」

2) 定例研修会の実施

① 支部主催セミナー

「関東・甲信越支部セミナー及び賀詞交歓会」

「ブライダル学びの日」として3つのコンテンツを提供した。

【日時】 2026年1月29日(木)15:30～

【場所】 東京ドームホテル

【セミナーA】 「私たちの未来の話をしよう」

ERISAEKI Wedding 佐伯 エリ氏

【セミナーB】 「ウェディング業界×生成AI導入 生成AI導入の「実態と成果」

アンドデジタル株式会社代表取締役社長 津田 翔平氏

【セミナーC】 「インバウンドの動向とウェディング業界の新たな可能性」

株式会社 Onwords 代表取締役社長 成澤 豪氏

【参加者】 127名

「北海道・東北支部セミナー」

「東北ブライダルカンファレンス」として、新規会員獲得、地域間連携を目的に開催。

【日時】 2026年3月9日(月) 16:00～

【場所】 ホテルモントレ仙台

【参加者】 31名

(BIA 会員、山形ウェディング協議会、いわてウェディング協議会、東北 B.M.C)

「中部支部主催セミナー」

「中部ブライダルカンファレンス」として、新規会員獲得、地域間連携を目的に開催。

【日時】 2026年3月18日(水) 16:00～

【場所】 名古屋東急ホテル

【参加者】 40名（BIA 会員、愛知ウェディング協議会、名古屋 B.M.C）

② NL（ネクストリーダーズ）研修

【日時】 2025年7月2日（水）・16日（水）・8月7日(木) 3日間

【会場】 SSI アカデミー会議室・ザ・リュクス銀座

【目的】 「同年代の若手が業界の課題について討議を重ね、提言を発表する事を通じて、参加者が新たな視座や知見を得る事」

【結果】 18名が3チームに分かれ、提言取りまとめ及びプレゼンテーションを実施。

③ 新人フォローアップ研修

【日時】 2025 年 9 月 25 日(木)リアル 12 月 16 日(火)オンライン

【会場】 クラシカ表参道

【目的】 モチベーションの向上、メンタルダウン停止、自己成長の促進、早期離職防止

【結果】 15 名参加、3 か月後のフォローアップ研修を含め高評価。

④ 月次セミナー

業界内に点在する経営に有益な情報をキュレーションし、会員企業等に届けるため、毎月 1 回無料オンラインセミナーとして開催

開催月	テーマ	講師	集客
4月	「結婚 & 恋愛フェスタ2025」成功の裏側を公開！	NPO法人東京ウェディングフォーラム理事長 野坂透	6
5月	1,000人の最新データから紐解く 「結婚式費用の透明化」がもたらす効果とは？	ウェディングパーク'+Creation本部・本部長 松尾 美緒	17
6月	今こそみんなで考えたい。日本人の結婚式のカタチとは？～神前式の意味や ブライダルの変遷から見つめなおす、これからの結婚式～	報徳二宮神社宮司 草山明久	19
7月	ブライダル業界における生成AIがもたらすユーザーの行動変化と集客激化時代 を生き抜く媒体活用方法	株式会社エイチームライフデザイン ブライダル事業部 三浦 唯	12
8月	VUCA時代を生き抜くためにリローカライゼーション	メルキュール裏磐梯リゾート&スパ 運営部長皆川 大樹	5
9月	やる気が出ないのはあなたのせいじゃない"自分を動かすコツ"を学ぶ50分	COCOSTYLE株式会社代表取締役 荒井さやか	12
10月	カップルの未来を描くプランニングのポイント	株式会社ジョイン 松浦 玲奈	11
11月	愛されプランナーになるコツ	仁藤なお子	20
12月	ウェルビーイングと働き方改革	株式会社YeeY代表取締役 島田 由香	4
1月	対話から始める結婚式プロデュース ～信頼関係の築き方～	岡村 奈奈	5
2月	ブライダルスタッフのための魅力開花するマナー&コミュニケーション ～一 瞬で記憶に残り、選ばれて、指名される方法とは？～	魅力開花コンサルタント 石田 真紀	8
3月	ブライダル現場で本当に使えるAI活用 トップランナーの知識を全員に共有し イメージを一瞬で形にする方法	株式会社ウィーブ執行役員 事業開発/運営 本部長 太田 大資	14

3) 経営者セミナー

【日時】 令和 8 年 3 月 11 日 (水) 17:00～

【会場】 SSI アカデミー会議室及びオンライン

【目的】 経営に必要なスキルや知識の習得

【テーマ】 「優良企業に根付く 4 つの共通ポイント」

日本生産性本部サービス産業生産性協議会・経営品質協議会

ディレクター 加藤 八十司氏

【参加者】 8 名

4) 関連団体との研修会・セミナーの協同、協力

① ジェイシック (JSC) 加盟団体との合同研修会

【目的】 サービス産業に関わる団体が、団体運営に関わる情報を共有し、加盟団体が抱える課題等の解決に協力し合うことにより、サービス産業全体の資質の向上を図るため、それぞれの団体の特質を共有する勉強会・検討会を継続実施している。(JAPAN HOSPITALITY & SERVICE INDUSTRY CONFERENCE)。

【活動】 年 2 回の例会、勉強会にて各団体の現況や課題の共有を実施。

【構成団体】 30 団体

② 関係団体等との合同研修会等

- ・一般社団法人日本ホテルレストランサービス技能協会（HRS）セミナーへの協力
- ・一般社団法人国際婚礼文化協会、一般財団法人民族衣裳文化普及協会、一般社団法人和婚アカデミー、日本ブライダルスペシャリスト協会、神社結婚式振興会、神社結婚式場会、日本ホスピタリティ・サービス産業団体協議会、地域ブライダル協議会、全国 BMC はじめ地区 BMC 等との合同研修会及び関連学術団体との交流等

③ その他関係団体等との協力

5) 各省庁、行政機関等が主催するセミナー等への参加

6) その他、当協会の目的を達成するためのセミナー等の検討

経済産業省、文化庁、宮内庁等と協力したセミナーの可能性

(2) イベント事業

1) 経済産業省後援「The Master of Bridal Coordinator」コンテストの開催

【参加資格】 以下①②③の条件を全て満たす方

- ①「ブライダルコーディネーター技能検定」1級合格者 または、過去の”The Master of Bridal Coordinator”コンテストで、「接客ロールプレイング試験」に出場経験のある方
- ②当コンテストにおける「マスター」の称号をお持ちでない方
- ③①②を満たし、且つ以下の条件を全てご了承いただける方
 - ・ 論文テストの内容及び氏名、会社名の公表（上位10名）
 - ・ 接客ロールプレイング試験のLive配信及び映像収録
 - ・ 前項の映像のBIA活動における使用及び希望者へのDVD販売（上位5名）

【スケジュール】

① 論文テスト 提出期限：4月17日（木）

テーマ： 「ブライダル産業の継続発展を期するため、人的資源の醸成、組織の在り方などについて記述せよ」

＜結果発表＞：5月9日(金)10:00

上位6名がファイナリストとして接客ロールプレイング試験への出場権を得る。

② 接客ロールプレイング試験 6月17日(火)

試験の上位3名に“The Master of Bridal Coordinator”の称号を授与

テーマ： 婚礼（結婚式、披露宴）の実施について、新郎新婦は実施しない方向で話をしていたものの、新婦両親から強い希望があり来場したカップルに、挙式や披露宴を実施していただけるよう接客。

＜結果発表＞：BIA総会懇親会内で発表

【賞】（報奨金総額：25万円）

グランプリ	1名	10万円	マスター認定証	バッジ
準グランプリ	1名	5万円	〃	〃
3位	1名	3万円	〃	〃
4～10位	7名	各1万円	ファイナリスト認定証	

【開催結果】

- ・最終結果 第1位 松浦 玲奈さん 株式会社ジョイン
- 第2位 三浦 明奈さん 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ
- 第3位 森田 菜穂さん 学校法人ホスピタリティ学園

2）（株）ブライダル産業新聞社主催「ブライダル産業フェア」への出展

【目的】「ブライダル産業フェア」に出展し、事業の広報活動を行った。

【日時】2025年7月6日（火）～11日（水）

3）関係団体等開催イベント等への後援・協力事業

- ① 一般財団法人民族衣裳文化普及協会「民俗衣裳文化功労者表彰」への協力
同 「全国浴衣きれいコンテスト」への協力
- ② 料飲専門家団体連合会名誉利き酒師表彰式への協力
- ③ エリアウェディングサミットへの協力・後援
- ④ （株）リクルートブライダル総研「GOOD WEDDING AWARD」
- ⑤ 横浜fカレッジ「Shape」
- ⑥ 全国BMC若手コンペティション
- ⑦ TOKYO ウェディングフォーラム「青山ウェディングクイーンコンテスト」
- ⑧ その他

4. ブライダルに関する内外関係機関との交流及び協力事業（定款第4条第4項関連事業）

（１） 他団体との交流

- ① 全国の神社との交流協力（神社結婚式振興会等）
- ② 全国 BMC、東京 BMC との交流及び協力 → 隔月に行われる研修会・交流会への参加
- ③ JSC 会員企業との交流及び協力
- ④ ホスピタリティ・マネジメント学会との交流及び協力 → 学会参加
- ⑤ 余暇ツーリズム学会との研究交流
- ⑥ 日本おもてなし学会
- ⑦ 全国地方自治体との交流及び協力 → 問い合わせ等への協力
- ⑧ 消費者相談センターへの協力 → 情報交流・消費者相談への協力
- ⑨ 国際観光白山会との交流及び協力 → 学会・教育情報交流
- ⑩ 国内報道機関との情報協力 → 情報提供・プロジェクトプランニング協力
- ⑪ 日本キリスト教団、ブライダル宣教団等キリスト教団体との交流協力
- ⑫ 結婚式関わる業界団体である、一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会、一般社団法人日本ホテル協会と連携を強化、情報の共有・啓蒙活動等連携

（２） 国際文化情報交流

- ① 社団法人韓国 Wedding 産業振興協会（KOWA）との文化情報交流
- ② 中国ブライダル協会との文化情報交流
- ③ 在日外国大使館への文化情報協力等
- ④ その他の海外サービス団体との情報交流開発

5. その他本会の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第5項関連事業）

（1） その他の相談対応等に係る活動

- ① 全国の消費者相談センターからの結婚式場に係るクレーム相談対応
- ② 全国の消費者からの婚礼に係る質問等に係る対応
- ③ 会員・非会員企業からの問い合わせへの対応
- ④ マスコミへの協力対応（TV、新聞、ラジオ等）

（2） 30周年記念事業の実施

2025年11月1日にBIA設立（1995年11月1日）から30年が経過するため、以下のとおり、記念事業を実施した。

【日時】 2025年11月6日(木)

【会場】 八芳園

【テーマ】 変わりゆく時代と結婚式、30年の軌跡と未来への挑戦
～時代をつむぎ、次代へつなぐ～

【内容】 ・記念式典
・トークセッション（NL会企画）
「ブライダル業界の現在と未来 ～世代を超えた対話から～」
・記念祝賀会《五穀豊穰―感謝と祈り》

【協賛企業】 特別会報誌協賛企業 26社、当日協賛企業 20社

【参加者】 会員 196名、非会員 12名、協賛企業 71名、来賓 18名、協議会 4名 合計：301名

【その他】 「30周年特別会報誌」を発行した。

（3） その他

理事会、委員会の開催状況は次の通り。

理事会	5月20日(木)、6月17日(火)、8月27日(水)、10月29日(水)、3月11日(水)
総務委員会	4月22日(火)、7月28日(月)、10月17日(金)、1月27日(火)
調査研究委員会	4月22日(火)、7月28日(月)、10月17日(金)、1月27日(火)
人材育成委員会	4月22日(火)、8月1日(金)、10月22日(水)、1月27日(火)

以上